

1997年度
くまもと
アートポリス
推 進 賞



K·A·P
KUMAMOTO ARTPOLIS

熊本県



「くまもとアートポリス推進賞」の選考を終えて

● 選考委員長 堀内清治

本年度の「くまもとアートポリス推進賞」の募集は去る8月から9月にかけて行われ、62件の応募があった。応募作品については、10月から11月に行われた第1次選考、現地審査等を経て、6件の受賞作品を決定することが出来た。この間、募集要項の決定や受賞作品選考の為に、多大の日時を割いて真摯に参加くださった選考委員各位に対して心から敬意と感謝を捧げる次第である。

本年度の選考基準には様々な評価のポイントがあげられている。それらは建築のデザイン、建設技術や工法、施工、環境への配慮、施設の活用、建物の維持管理、あるいは広く地域への貢献など、日頃我々が建築を評価する観点の殆どすべてを網羅している。元来、建築は発注者が要求する建物の使用目的を、出来るだけ完全に、かつ長期間にわたって満足させるために造られるものだから、建物を良く造っただけでは終わらず、それを上手に使いこなし、長持ちさせることが大切である。これまで優れた建築と呼ばれている建物は、企画の段階から今日まで、発注者、設計者、施工者、管理者、使用者等がそれぞれの役割を忠実に果たしてきた結果である。そしてこのような良心的な建築が数多く存在することが、古い日本の町の風格と豊かさを生み出してきた。

近年、建築はややもすると、経済的観点だけから考えられるようになり、建築の善し悪しは主として経済的合理性で判断されるようになった。そのため、建築本来の職能の中から、職人が自分の腕を磨くという喜びや、難しい仕事をやりとげるという満足や、社会に対する奉仕や連帯などという、直接利益を生まないものは影が薄れていった。それだけならまだしも、それと共に人々の生き甲斐や生活の豊かさの感覚も、根拠を失っては消えて行かざるを得なかった。経済的には未曾有とも言うべき飛躍的な発展にもかかわらず、最近では生活の豊かさを感じることが出来なくなってしまったとしきりに言われるのはそのためであろう。

私は本年度のくまもとアートポリス推進賞選考に当たって、社会の共有資産である建築の本当の価値を再評価し、建築の色々な段階における当事者のかかわりの中に、何等かの意味で人々に共感や感動を与えるものを探し出し、表彰することによって、生き甲斐と豊かさの意味をもう一度みんなで考え直してみたいと願った。

事業主：泉村
 設計者：隈龍環境計画
 施工者：南岩崎建設 隈宮崎工務店 梅田建築
 所在地：八代郡泉村久連子
 竣工：1996年3月
 用途：多目的集会室 展示室 特産品加工販売 食堂 育苗温室 鶏舎
 構造：木造
 階数：平屋(一部2階)
 敷地面積：4,000m²
 建築面積：1,122m²
 延床面積：893m²

[くまもとアートポリス推進賞選賞]

久連子古代の里

This is a very impressive design, both in the architecture of the individual buildings, and in the way that the buildings are grouped together to give a very strong 'sense of place'.

The 'secondary' buildings are simple, similar in shape, and arranged in a straight line, in order to emphasise the animated form of the 'main' building, which refers - in an abstract way - to the shape and movements of the chicken which is a central part of the historic religious ritual which is special to this village.

But, the chicken - form is not copied in a 'decorative' or superficial way. The architect has cleverly given each element of the design both a symbolic and a practical purpose. In a very simple and elegant way, the architect expresses both the long history and the present life of the people of this remote village.

Tom Heneghan



【翻訳】

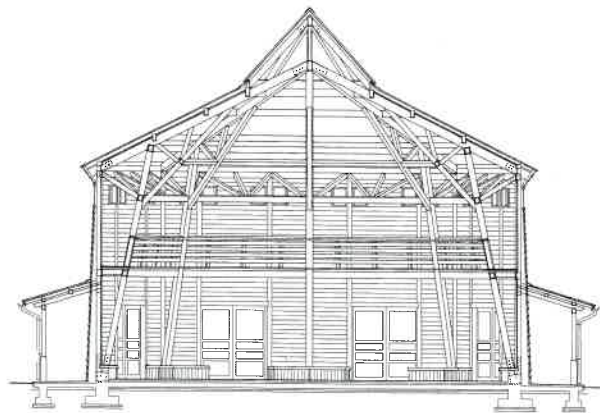
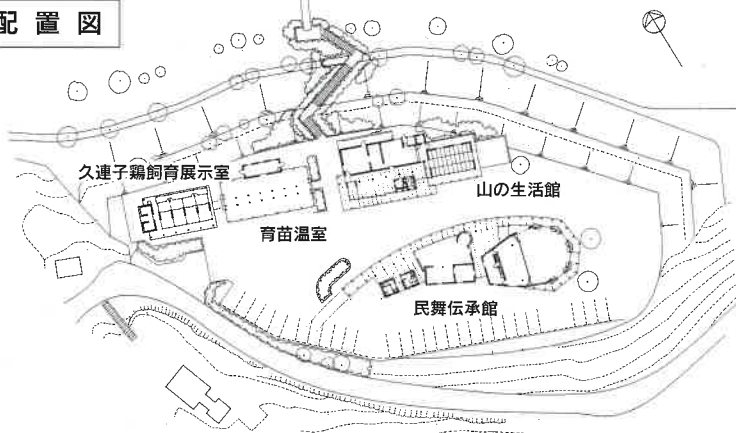
これらは、個々の建物の構成としても、また、建築物が集まって非常に強い「場の意味」を与えているという点からも、非常に印象的なデザインである。

山の生活館などは、単純で似た建物を直線上に配置している。これは、中心となる民舞伝承館の生き生きとした形状を強調するためである。また、民舞伝承館はこの村に古代から伝わる宗教的儀式的中心である「久連子鶏」の形と動きを「抽象的な手法」で引用している。

しかしながら、その鶏の形は「装飾的」に、或いは「表面的」に複製されているものではない。設計者は、デザインの各要素に「象徴的」かつ「実用的」な目的を巧みに与えている。そしてこの山奥の村の長い歴史と現在の村人の暮らしの両方を、単純で優雅な方法で表現している。

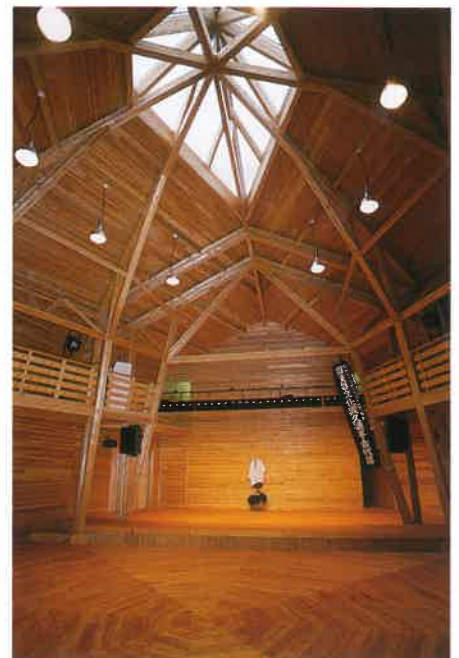
(トム・ヘネガン)

配置図



断面図

民舞伝承館
古代踊り劇場



Yatsushiro-sbiritsu
Hojyu-ryo

[くまもとアートポリス推進賞選賞]

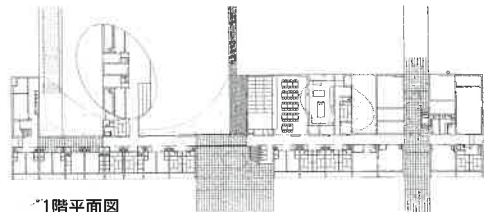
養護老人ホーム 八代市立保寿寮

老人ホームは、八代海に向かって軽やかに明るく開いた建築である。透明感に溢れた建築は単純な形でありながら、空間を構成する各部位、部材はそこに在ることを主張している。空間構成が見事な理由である。

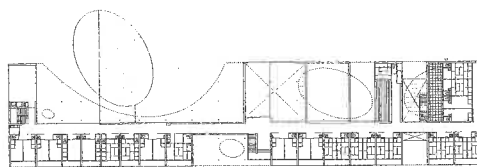
問題はこのような建築が養護する能力をどう発揮するかという点である。建築物は、使う人々の動きや気持ちを受け止め、人々に或る種のリアクションを与えるものであるから、空間構成や材料のあり方はこの能力に大きく関わっている。

この施設の性格を考えると、企画段階からエレベーターの設置を考えておくべきではなかったろうか。ひとや環境にやさしい配慮が今後ますます自明のこととして、公共施設に求められている。

(渡辺定夫)



1階平面図



2階平面図



撮影：大橋富夫



事業主：八代市
設計者：(株)伊東豊雄建築設計事務所
施工者：五洋建設(株)・(株)盛建設・(株)米木工務店JV
太陽電気(株)八代支店・(有)小林電工JV
第一設備工業(株)・(有)吉田設備・(有)山下水道設備JV
所在地：八代市日奈久平成町
竣工：1994年3月
用途：養護老人ホーム
構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
階数：2階
敷地面積：7,425m²
建築面積：1,827m²
延床面積：2,487m²

Minamata-shiei
Araikiri-danchi

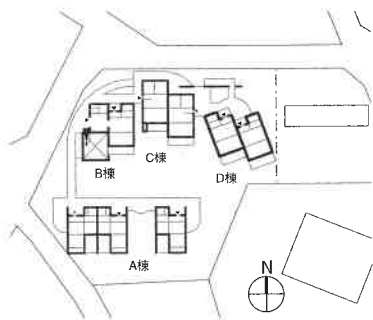
[くまもとアートポリス推進賞選賞]

水俣市営洗切団地

"洗切団地"は、狭小な敷地のなかに適度に分節されたスケールをもって、周囲の低層住宅地と違和感なく建っている。

外部の照明ボックス、竹のルーバーや簾用フックなど、細やかな工夫が随所に見られる。屋上菜園や変化に富んだ通路部分など、共用部分にも十分配慮が見られると同時に、設計段階における住民参加方式を採用するなど、設計者のひたむきな熱意が感じられるプロジェクトとなっている。

(早川邦彦)



撮影：富重清治

事業主：水俣市
設計者：(株)高木富士川計画事務所
施工者：若松建設(株)・浜田建設(株)・(株)クキタJV
所在地：水俣市浜町
竣工：1997年3月
用途：共同住宅
構造：鉄筋コンクリート造
階数：4階
敷地面積：1,959m²
建築面積：926m²
延床面積：1,866m²



事業主：クラフト・ワン㈱
 設計者：(株)上田憲二郎建築事務所
 施工者：㈱吉永産業
 所在地：本渡市本渡町
 竣工：1996年10月
 用途：工房 ギャラリー
 構造：鉄筋コンクリート造一部木造
 階数：2階
 敷地面積：1,927m²
 建築面積：834m²
 延床面積：972m²

Maruo-yaki
 Koubou

[くまもとアートポリス推進賞選賞]

丸尾焼工房



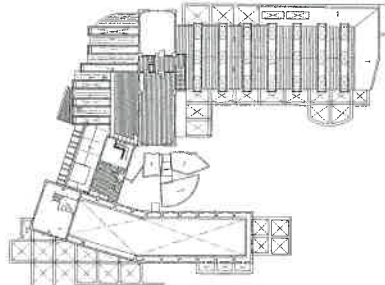
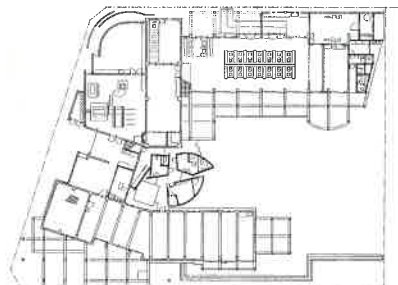
150年余りの歴史を持つこの窯元は、水瓶、味噌瓶、醤油瓶、の製造や大型の土管等の工業製品も手がけてきたが、近年では生活用品として陶器の可能性を追求している。作品の変化もあり、土地区画整理事業に合わせて平成8年にアトリエ、工房、展示場等而建て直した。

この建物は、のびやかで、使い勝手の良さそうな手頃な空間である。また、展示場の外壁にはめ込まれた陶板や土壁面からは、建設に携わった人達の暖かい思いが伝わってくる。

展示場や中庭では作品の展示のみならず、コンサート等の文化活動も行われ、新しい文化の拠点としての発展も併せて期待したい。
 (永田 求)

1階平面図

2階平面図



事業主：平井浩二
 設計者：ばん設計小材事務所
 施工者：㈱遠永工務店
 所在地：人吉市古仏頂町
 竣工：1997年1月
 用途：専用住宅
 構造：木造一部鉄筋コンクリート造
 階数：2階
 敷地面積：360m²
 建築面積：181m²
 延床面積：211m²

Hitoyoshi no ie II
 Hirai-tei

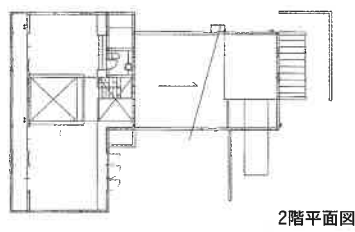
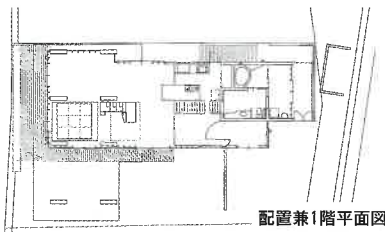
[くまもとアートポリス推進賞選賞]

人吉の舎II / 平井邸

球磨川支流の胸川に面して建つ"人吉の舎II"は、5人家族の住宅となっている。

nLDKという間取りではなく、大きな空間のなかにそれぞれの機能を持った領域が立体的に配置されている大らかな構成は印象的である。また、厳しいコストのなかでの構造的な工夫も評価できる。

若い家族の成長とともに、住み手が手を加えながら変化してゆくであろうこの住宅は、その変化に十分対応できるキャパシティをもつものとなっている。
 (早川邦彦)



配置兼1階平面図

2階平面図



Ukishima shuben
Mizube koben

[くまもとアートポリス推進賞選賞] 浮島周辺水辺公園

水域・水辺の至るところから水が湧き出ている一帯を取り囲み、保全整備し、また、人と野性動物が共生する空間づくりを目指したこの環境共生型公園は、21世紀への地域づくりに大いに寄与するものと高く評価された。

芝生広場には、あずまやが点在し、浮島生態園の水辺は、伝統的護岸工法を用いて、鯉、鮒やドンコ等の産卵・生息する生活環境を確保し、悠久の郷を思わせる景観がある。

地域住民や来訪者に自然との共生の感動を湧水の如く与え続ける貴重な公園として存在感は大となろう。

(陣内ヒロミ)



事業主：嘉島町
設計者：九州ランドスケープ
施工者：吉川建設(株) 榑高村建設 (株)木下建設 榑宮下組 (株)大森建設 奥村工務店
(株)上野造園 (株)山田土木 河原工務店 (株)梅荘園 三和樹木苑(株)
所在地：上益城郡嘉島町井寺
竣工：1994年3月
用途：親水公園
敷地面積：44,000m²



平面図

受賞作品 位置図

第3回受賞作品

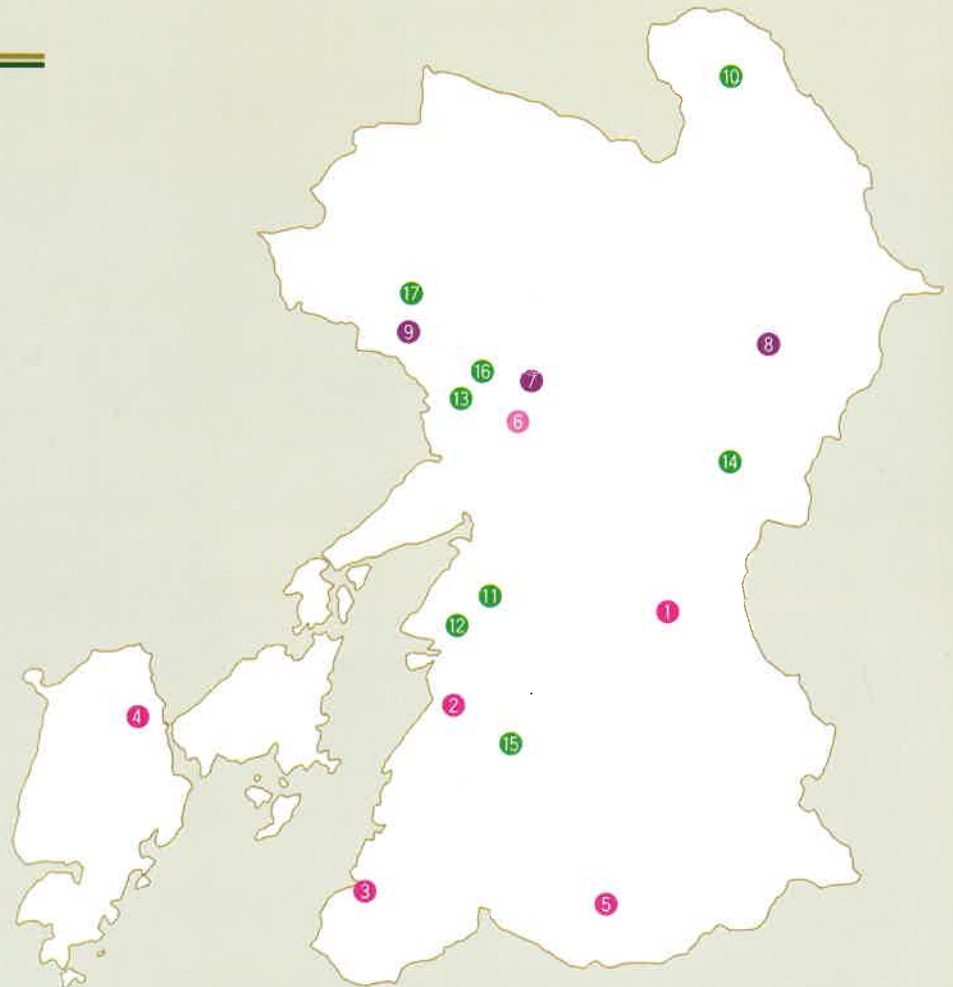
- 1 久連子古代の里
- 2 養護老人ホーム 八代市立保寿寮
- 3 水俣市営洗切団地
- 4 丸尾焼工房
- 5 人吉の舎II/平井邸
- 6 浮島周辺水辺公園

第2回受賞作品

- 7 社会福祉法人 慈愛園 ノーマンホーム
- 8 阿蘇白水温泉「瑠璃」
- 9 ふるさとセンター Y・BOX

第1回受賞作品

- 10 小国町立西里小学校
- 11 東陽村石匠館
- 12 八代広域行政事務組合 消防本部庁舎
- 13 株式会社野田市兵衛商店 流通団地営業所
- 14 清和物産館 (四季のふるさと)
- 15 荒瀬ダムポートハウス
- 16 出田眼科病院
- 17 尚玄山荘



本県では、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化の向上を図るとともに、豊かな地域づくりに貢献するため「くまもとアートポリス」構想を推進しております。県内各地の優れた建造物等について、より多くの県民の皆様方の建築文化に対するご理解を深めていただくために、「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を実施しています。

この賞は、優れたデザイン、技術的提案、地域づくりへの貢献等がなされていることを総合的に評価して選考されるものです。

募集要項

■表彰対象

平成4年4月1日から平成9年3月31日までに竣工（改造、改修、修復を含む。）した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等（くまもとアートポリス参加プロジェクト作品及び県の施設を除く。）とします。

■選考基準

本賞の選考は建造物等の企画、設計、施工及び施設の運用等に関する総合評価に基づき行います。

■評価のポイント

- ①優れたデザインを有しているもの
- ②新しい技術的提案や工法の改善がなされているもの
- ③良好な施工が行われているもの
- ④ひとや環境にやさしい配慮がなされているもの
- ⑤施設の活用に創意工夫がみられるもの
- ⑥維持・管理が良好なもの
- ⑦地域づくりに寄与しているもの

■賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。

推進賞は5点程度、推進賞選賞は適宜設けます。

それぞれの事業主（必要に応じて管理者を含む。）、

設計者、施工者に知事が表彰状を贈ります。

また、事業主に銘板を贈ります。

■応募資格

自薦・他薦を問わず、どなたでも応募できます。

選考委員会

- 委員長 堀内清治（熊本工業大学教授）
- 委員 桐敷真次郎（東京都立大学名誉教授）
- 委員 陣内ヒロミ（慈愛園パウラスホーム施設長）
- 委員 トム・ヘネガン（アーキテクチャーファクトリー代表）
- 委員 永田 求（熊本県文化協会常務理事）
- 委員 早川邦彦（早川邦彦建築研究室代表）
- 委員 久野啓介（熊本日日新聞社常務取締役主筆）
- 委員 藤井輝彰（熊本経済同友会副代表幹事）
- 委員 渡辺定夫（工学院大学教授）

選考経過

- 審査委員会 平成9年7月31日 募集要項等の検討
- 募集 平成9年8月18日～9月30日 募集総数：62件
- 書類審査 平成9年10月21日
- 現地審査 平成9年11月15日～11月18日 現地審査件数：12件
- 最終審査 平成9年11月18日 受賞件数：6件
- 表彰式 平成10年2月24日

第1回(1995年度)

受賞作品



■小国町立西里小学校
(阿蘇郡小国町)



■東陽村石匠館
(八代郡東陽村)



■八代広域行政事務組合
消防本部庁舎
(八代市)



■株式会社野田市兵衛商店
流通団地営業所
(熊本市)



■清和物産館(四季のふるさと)
(上益城郡清和村)



■荒瀬ダムボートハウス
(八代郡坂本村)



■出田眼科病院
(熊本市)



■尚玄山荘
(玉名市)

第2回(1996年度)

受賞作品



■社会福祉法人
慈愛園ノーマンホーム
(熊本市)



■阿蘇白水温泉「瑠璃」
(阿蘇郡白水村)



■ふるさとセンターY-BOX
(玉名郡横島町)

■…くまもとアートポリス推進賞

■…くまもとアートポリス推進賞選賞